

11月5日(土)【ビーバー・カブ隊】秋のハイキング

久妙寺から古田、徳能を通り常石山まで、徳田地区のハイキングを行いました。まずは久妙寺で地図の見方を学びます。地図の東西南北、尺図、等高線、地図記号を確認し、通るルートを確認します。片道3km、往復約6kmの道のりです。

晴天の中、久妙寺を出発。北へ向かって歩き、まずは徳田小学校方面へ歩きます。徳田小学校前には、徳能道綱と土居通増の供養塔がありました。地下道を抜け、住宅街を進むと、渡部権太夫と家族の碑があります。そこには看板が設けられており、そこには庄屋渡部権太夫が厳しい年貢の取り立てを江戸幕府に直訴し、打首となってしまったが藩政が改善され村民が助かったことから、のちの庄屋が供養したということが記載されていました。そのときの刑場は新市あったというので、みんなびっくりです。次に渡部権太夫とその家族のお墓を見て、常石山へ向かいました。コンクリートで舗装されていますが、なかなかの急勾配な道のりでした。徳能道綱は鎌倉時代の武将でしたが、常石山に城跡があり徳能氏の山城であったと言われており碑が建てられていました。そこから折り返し、久妙寺まで戻りました。歴史の話は少し難しいところもありましたが、身近な地域にある碑や建物に興味を持つ良いきっかけになりました。途中のどんぐり、すすき、赤く染まった葉っぱなどを見て秋を感じ、さわやかな気候の中のハイキングは気持ちよかったです。

